

平成26年度

運営に関する計画
(目標設定)

大阪市立美津島中学校

1. 学校運営の中期目標

【学校運営における現状と課題】

【学力の向上】◎主体的に学習に取り組むことができる生徒を育成する。

○国数英の習熟度別授業や朝の学級活動時の読書活動、家庭学習ノートの点検活動、テスト前の補充学習、長期休業中のチャレンジ講座の開設などを通して、基礎学力の定着と自主的に学習する態度と習慣が身につくように粘り強く指導している結果、全国学力学習状況調査の結果が年々上昇してきている。ただし、国語、数学とも、全国平均や大阪市平均を上回る結果は出ていない。今後も粘り強く取り組む必要がある。

○ICTを活用した授業や言語活動を充実させた授業づくりに努める。

【道徳心・社会性の育成】◎自他を尊重し、互いに励まし、認め合い、向上する集団を育成する。

○昨年度は、避難訓練を2回しか実施できなかったが、今年は地震、津波等の防災に対する学習をより深め、小中と地域が連携をした防災訓練に取り組む。

○昨年度の生徒アンケートの結果からは、「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的解答率が目標数値を大きく下回った。今年度は、さらに「いじめ防止対策委員会」を中心に計画的に取り組む必要がある。

○日常の美化活動やボランティア清掃を通して、学校環境美化に自ら進んで取り組む姿勢と態度を養う。

○すべての教育活動を通して人権意識を育成するとともに、本物に触れる機会を増やし、多様な文化を理解する態度を育成する。

【健康・体力の保持増進】◎健康に関心を持ち自己管理ができる生徒を育成する。

○昨年度の全国体力診断テストの結果は、柔軟性において全国平均を下回ったが、総合的には全国平均より高い結果が出ている。今後も継続できるように体育の授業や部活動などで運動量が減らないように努める。

○朝食の喫食率が低い本校の生活実態を踏まえて、食育の観点から「朝食を摂る大切さ」をさらに継続して指導し、日常生活において喫食率を高める。

【視点：家庭、地域の連携・研修の充実】◎人権意識を高くもった指導方法を実践する。

○教育活動全般を通して、高い人権意識を持った指導方法を実践する教職員組織づくりに努める。

平成26年度の校内アンケートにおいて、「先生方は生徒の個々の状況に応じた丁寧な指導をすすめている」という肯定的回答率が55%以上になるようにする。

1. 学校運営の中期目標

【視点：学力の向上】◎主体的に学習に取り組むことができる生徒を育成する。

- ① 平成27年度の全国学力・学習状況調査において、国語では「書くこと」「読むこと」、数学では「数と式」の項目に関する平均正解率を増加させ、大阪市の平均正答率以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ② 平成27年度の校内アンケート調査において、「学校の授業内容はわかりやすいと言っている」と回答する保護者の割合を全校で70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 平成27年度全国学力・学習状況調査の生徒アンケートにおいて、「普段の授業で、自分の考えや意見を発表する機会が与えられている」に対する肯定的回答率を60%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 習熟度別少人数授業の結果を検証し、改善に役立てる。平成27年度の全国学力・学習状況調査において、無解答の割合を減少させ、全国平均以下にする。
(カリキュラム改革関連)
- ⑤ 情報選択・処理・発信能力育成のため、ICTを活用する授業及び校務支援の活用を全教員が実践し、職員連絡会の時間短縮を図る。
(マネジメント改革関連)
- ⑥ 教職員の資質向上にむけた研修会を組織的に企画立案し、運営する体制を創造する。
(ガバナンス改革関連)

【視点：道徳心・社会性の育成】◎自他を尊重し、互いに励まし、認め合い、向上する集団を育成する。

- ① 教職員や生徒の安全対策能力向上のための講習や授業、防災・避難訓練等を年間3回以上行う。また、内容によって地域との連携を図り、小中・地域との合同で行う。
(ガバナンス改革関連)
- ② 施設の整備と美化を積極的に行い、学習環境を整える意識を高める。平成27年度の校内アンケート調査において、「わたしは、清掃活動や班活動などに熱心に取り組んでいる」の肯定的回答率を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 豊かな人間性・情操を育むために、本物に触れる機会を増やし、日本の歴史、伝統、文化だけでなく、多様な文化を理解し、尊重する国際社会人を育成する。平成27年度校内アンケート調査で、「道徳・総合の取り組みの時間を楽しみにしている」の肯定的回答率を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 生徒個々の特性を生かした教育活動を推進し、自己実現に向けた進路指導の充実を図る。平成27年度の校内アンケート調査において、「学校は、一人一人を大切にしたい教育を進めている」の肯定的回答率を80%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑤ 各高等学校のオープンスクールや体験入学、進路説明会についての情報をタイムリーに伝達し、一人1回は必ず参加させる。
(マネジメント改革関連)
- ⑥ すべての教育活動を通して、自他の生命を尊重する人権意識を高め、平成27年度の校内アンケート調査において、「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答率を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ⑦ 平成27年度の校内アンケート調査において、「先生たちは、わたしたちの心配ごとや悩み事に気付き、相談に応じている」の項目について、肯定的回答率を60%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑧ 規範意識を高め、全国学力学習状況調査の「学校の規則を守っている」の肯定的回答率を昨年度より高める。90%以上を目指す。
(マネジメント改革関連)
- ⑨ 部活動の推進に努めるとともに定着化を図り、入部定着率を70%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑩ 国際理解を推進し、異文化を理解する態度を育成する。また、ルーツを持つ生徒の民族クラブへの参加率を50%にする。
(マネジメント改革関連)

【視点：健康・体力の保持増進】◎健康に関心を持ち自己管理ができる生徒を育成する。

- ① 各種検診の結果や、健康課題の現状に基づき、学級での健康指導の充実を図る。平成27年度の校内アンケート調査において、「わたしは、健康について適切な指導を受けている」の肯定的回答率を90%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ② 平成27年度の校内アンケート調査において、「朝食を毎日取る習慣が身についている」の項目について、肯定的回答率を80%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ③ 生徒主体の活動の場を設定することにより、自主性を育む。平成27年度の校内アンケート調査において、「体育祭、文化祭などの学校行事で、わたしが力を発揮し、活躍する場がある」という肯定的回答率を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点：家庭・地域の連携・研修の充実】◎人権意識を高くもった指導方法を実践する。

- ① 教育活動全般を通して、高い人権意識を持った指導方法を実践する教職員組織づくりに努める。平成27年度の校内アンケートにおいて、「先生方は生徒の個々の状況に応じた丁寧な指導をすすめている」という肯定的回答率が60%以上になるようにする。
(マネジメント改革関連)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点：学力の向上】◎主体的に学習に取り組むことができる生徒を育成する。

- ① 平成26年度の全国学力・学習状況調査において、国語では「書くこと」「読むこと」、数学では「数と式」の項目に関する平均正解率を昨年度より、3～5ポイント増加させる。
(カリキュラム改革関連)
- ② 平成26年度の校内アンケート調査において、「学校の授業内容はわかりやすいと言っている」と回答する保護者の割合を全校で65%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 平成26年度全国学力・学習状況調査の生徒アンケートにおいて、「普段の授業で、自分の考えや意見を発表する機会が与えられている」に対する肯定的回答率を昨年度より増加させる。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 習熟度別少人数授業の結果を検証し、改善に役立てる。平成26年度の全国学力・学習状況調査において、無解答の割合を昨年度より減少させる。
(カリキュラム改革関連)
- ⑤ 情報選択・処理・発信能力育成のため、ICTを活用する授業及び校務支援の活用を全教員に働きかけ、連絡掲示板等の活用率を高める。
(マネジメント改革関連)
- ⑥ 教職員の資質向上にむけた研修会を組織的に企画立案し、運営する体制づくりに努力する。若手教員の授業力・指導力アップを図る研修会を位置づけ、年3回以上の研究授業に全教職員で取り組む。
(ガバナンス改革関連)

【視点：道徳心・社会性の育成】◎自他を尊重し、互いに励まし、認め合い、向上する集団を育成する。

- ① 教職員や生徒の安全対策能力向上のための講習や授業、防災・避難訓練等を年間3回以上行う。また、小中、地域が互いに防災について意識を高められるように働きかける。
(ガバナンス改革関連)
- ② 施設の整備と美化を積極的に行い、学習環境を整える意識を高める。平成26年度の校内アンケート調査において、「わたしは、清掃活動や班活動などに熱心に取り組んでいる」の肯定的回答率を80%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 豊かな人間性・情操を育むために、本物に触れる機会を増やし、日本の歴史、伝統、文化だけでなく、多様な文化を理解し、尊重する国際社会人を育成する。平成26年度校内アンケート調査で、「道徳・総合の取り組みの時間を楽しみにしている」の肯定的回答率を65%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 生徒個々の特性を生かした教育活動を推進し、自己実現に向けた進路指導の充実を図る。平成26年度の校内アンケート調査において、「学校は、一人一人を大切にしたい教育を進めている」の肯定的回答率を70%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑤ 各高等学校のオープンスクールや体験入学、進路説明会についての情報をタイムリーに伝達し、一人1回は必ず参加するように促す。
(マネジメント改革関連)
- ⑥ すべての教育活動を通して人権意識を高め、平成26年度の校内アンケート調査において、「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答率を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- ⑦ 平成26年度の校内アンケート調査において、「先生たちは、わたしたちの心配ごとや悩み事に気付き、相談に応じている」の項目について、肯定的回答率を50%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑧ 規範意識を高め、全国学力学習状況調査の「学校の規則を守っている」の肯定的回答率を昨年度より高める。
(マネジメント改革関連)
- ⑨ 部活動の推進に努めるとともに定着化を図り、入部率を70%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ⑩ 異文化を理解する機会を設定し、理解する態度を育成する。また、ルーツを持つ生徒の民族クラブへの参加率を昨年度より高める。
(マネジメント改革関連)

【視点：健康・体力の保持増進】◎健康に関心を持ち自己管理ができる生徒を育成する。

- ① 各種検診の結果や、健康課題の現状に基づき、学級での健康指導の充実を図る。平成26年度の校内アンケート調査において、「わたしは、健康について適切な指導を受けている」の肯定的回答率を83%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ② 平成26年度の校内アンケート調査において、「朝食を毎日取る習慣が身についている」の項目について、肯定的回答率を75%以上にする。
(マネジメント改革関連)
- ③ 生徒主体の活動の場を設定することにより、自主性を育む。平成26年度の校内アンケート調査において、「体育祭、文化祭などの学校行事で、わたしが力を発揮し、活躍する場がある」という肯定的回答率を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点：家庭・地域の連携・研修の充実】◎人権意識を高くもった指導方法を実践する。

- ① 教育活動全般を通して、高い人権意識を持った指導方法を実践する教職員組織づくりに努める。平成26年度の校内アンケートにおいて、「先生方は生徒の個々の状況に応じた丁寧な指導をすすめている」という肯定的回答率が55%以上になるようにする。
(マネジメント改革関連)

大阪市立美津島中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標どおりに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった。

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった。

年度目標	達成状況
【 視点 学力の向上 】 ① 平成26年度の全国学力・学習状況調査において、国語では「書くこと」「読むこと」、数学では「数と式」の項目に関する平均正解率を昨年度より、3～5ポイント増加させる。(カリキュラム改革関連)(教務部) ② 平成26年度の校内アンケート調査において、「学校の授業内容はわかりやすいと言っている」と回答する保護者の割合を全校で65%以上にする。(カリキュラム改革関連)(教務部) ③ 平成26年度全国学力・学習状況調査の生徒アンケートにおいて、「普段の授業で、自分の考えや意見を発表する機会が与えられている」に対する肯定的回答率を昨年度より増加させる。(カリキュラム改革関連)(教務部) ④ 習熟度別少人数授業の結果を検証し、改善に役立てる。平成26年度の全国学力・学習状況調査において、無解答の割合を昨年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)(教務部) ⑤ 情報選択・処理・発信能力育成のため、ICTを活用する授業及び校務支援の活用を全教員に働きかけ、活用率を高める。(マネジメント改革関連)(教務部) ⑥ 教職員の資質向上にむけた研修会を組織的に企画立案し、運営する体制づくりに努力する。若手教員の授業力・指導力アップを図る研修会を位置づけ、年3回以上の研究授業に全教職員で取り組む。(ガバナンス改革関連)(研修)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【 区分 言語力や論理的思考能力の育成 】 各教科の学習活動において、言語活動を取り入れた授業を展開し、読解、コミュニケーション能力の向上を図る。(カリキュラム改革関連) 指標 言語活動の取組を各教科で実践し、言語力と論理的思考力を高める。全国学力学習状況調査において、国語では「書くこと」「読むこと」、数学では、「数と式」の項目に関する平均正答率を昨年度より、3～5ポイント増加させる。質問紙における「自分の考えが発表できる機会が与えられている」の割合を昨年度より増加させる。	
取組内容②【 区分 学習指導の充実 】 各教科の教育計画に基づき、実践する。(カリキュラム改革関連) 指標 年度末の校内アンケート調査において、「学校の授業内容はわかりやすいといっている」と肯定的に回答する生徒と保護者の割合を昨年度より増加させる。	
取組内容③【 区分 言語力や論理的思考能力の育成 】 各教科の教育計画に基づき、生徒に発表する機会を多く与え、自己表現力を高める取り組みを実践する。(カリキュラム改革関連) 指標 年度末の校内アンケート調査において、普段の授業で、「自分の考えや意見を発表する機会が与えられている」に対する肯定的回答率を昨年度より増加させる。	
取組内容④【 区分 習熟度別少人数授業の充実 】 国数英における、習熟度別少人数授業を実施計画に基づき運用することによって、個々の能力に応じた学力向上を図り、問題に粘り強く向き合う態度を育てる。(カリキュラム改革関連) 指標 全国学力・学習状況調査においての、無解答の割合を昨年度より減少させる。	
取組内容⑤【 区分 ICTを活用した教育の推進 】 ICT利用環境を整え、利用促進のための支援を行う。校務における成績処理や出欠管理等の環境整備及び研修を行う。(マネジメント改革関連) 指標 校務におけるすべての情報をICTにより、処理活用するとともに、ICTを活用した授業に積極的に取り組む。	
取組内容⑥【 区分 各種研究・研修の充実 】 教職員の資質向上にむけた研修会を組織的に企画立案し、運営する体制づくりを図る。若手教員の授業力・指導力アップを図る研修会を位置づけ、研究授業に全教職員で取り組む。(ガバナンス改革関連) 指標 研究授業をのべ10回以上行い、全教職員が最低1回の研究授業に取り組む。	

大阪市立美津島中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した

B:目標どおりに達成した

C:取り組んだが、目標を達成できなかった。

D:ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった。

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>① 教職員や生徒の安全対策能力向上のための講習や授業、防災・避難訓練等を年間3回以上行う。また、小中、地域が互いに防災について意識を高められるように働きかける。(ガバナンス改革関連) (健康教育)</p> <p>② 施設の整備と美化を積極的に行い、学習環境を整える意識を高める。平成26年度の校内アンケート調査において、「わたしは、清掃活動や班活動などに熱心に取り組んでいる」の肯定的回答率を80%以上にする。(カリキュラム改革関連) (健康教育)</p> <p>③ 豊かな人間性・情操を育むために、本物に触れる機会を増やし、日本の歴史、伝統、文化だけでなく、多様な文化を理解し、尊重する国際社会人を育成する。平成26年度校内アンケート調査で、「道徳・総合の取り組みの時間を楽しみにしている」の肯定的回答率を65%以上にする。(カリキュラム改革関連) (道徳教育)</p> <p>④ 生徒個々の特性を生かした教育活動を推進し、自己実現に向けた進路指導の充実を図る。平成26年度の校内アンケート調査において、「学校は、一人一人を大切にした教育を進めている」の肯定的回答率を70%以上にする。(マネジメント改革関連) (進路指導)</p> <p>⑤ 各高等学校のオープンスクールや体験入学、進路説明会についての情報をタイムリーに伝達し、一人1回は必ず参加するように促す。(マネジメント改革関連) (進路指導)</p> <p>⑥ すべての教育活動を通して人権意識を高め、平成26年度の校内アンケート調査において、「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答率を70%以上にする。(カリキュラム改革関連) (生活指導)</p> <p>⑦ 平成26年度の校内アンケート調査において、「先生たちは、わたしたちの心配ごとや悩み事に気付き、相談に応じている」の項目について、肯定的回答率を50%以上にする。(マネジメント改革関連) (生活指導)</p> <p>⑧ 規範意識を高め、全国学力学習状況調査の「学校の規則を守っている」の肯定的回答率を昨年度より高める。(マネジメント改革関連) (生活指導)</p> <p>⑨ 部活動の推進に努めるとともに定着化を図り、入部率を70%以上にする。(マネジメント改革関連) (生活指導)</p> <p>⑩ 異文化に触れる機会をつくり、国際社会における共生の意識を育てる。また、ルーツを持つ生徒の民族クラブへの参加率を昨年度より高める。(マネジメント改革関連) (人権教育)</p>	

大阪市立美津島中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標どおりに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった。

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった。

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		達成状況
取組内容①【 区分 防災教育の推進 】	講習や授業の立案、外部機関との連携を行う。(ガバナンス改革関連)	
指標	実施計画に基づき、実践する。	
取組内容②【 区分 教育環境の整備 】	保健・美化等各委員会活動を中心に、クリーンウィーク活動などさまざまな美化活動を行う。(カリキュラム改革関連)	
指標	校内アンケート調査における「私は清掃活動や班活動に熱心に取り組んでいる」の肯定的回答率を昨年度より増加させる。	
取組内容③【 区分 道徳教育の推進 】	道徳教育推進委員会が中心となり、各学年における道徳教材の研究を行い、研究授業に取り組む。(カリキュラム改革関連)	
指標	校内アンケート調査においての「道徳の時間を楽しみにしている」の肯定的回答率を昨年度より向上させる。	
取組内容④【 区分 進路指導 】	生徒個々の特性を生かし、自己実現に向けた進路指導を展開する。生徒個々の目標達成度を90%以上にする。(マネジメント改革関連)	
指標	校内アンケート調査において、「一人一人を大切にした教育を進めている」の肯定的回答率を70%以上にする	
取組内容⑤【 区分 進路指導 】	各高等学校のオープンスクールや体験入学、進路説明会についての情報をタイムリーに情報を伝える。(マネジメント改革関連)	
指標	各高等学校のオープンスクールや体験入学、進路説明会について、一人1回は必ず参加させる。	
取組内容⑥【 区分 いじめへの対応 】	道徳教材を工夫し、人権意識を高めるとともに、弱者への配慮ができる指導を推進する。(カリキュラム改革関連)	
指標	校内アンケート調査において「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答率を向上させる。	
取組内容⑦【 区分 問題行動への対応 】	教育相談活動を推進し、1週間の振り返りカードの活用や、相談期間を設けるなど、日々の生徒の心の変化に対応する。(マネジメント改革関連)	
指標	校内アンケート調査において、「先生はわたしたちの心配事や悩みに気づき、相談に応じている」の肯定的回答率の向上	
取組内容⑧【 区分 問題行動への対応 】	学校生活全般において、生徒自身の中の規範意識を高め、のべ遅刻者数を昨年度より減少させ、「学校の規則を守っている」の肯定的回答率を昨年度より高める。(マネジメント改革関連)	
指標	年間遅刻者数の減少と全国学力学習状況調査の「学校の規則を守っている」の肯定的回答率を昨年度より高める。	
取組内容⑨【 区分 特別活動 】	部活動仮入部期間を土日の活動などを含めて増やし、さまざまな部活動の様子を体験させることにより、早期の退部者を減少させる。(マネジメント改革関連)	
指標	年度末における入部率の割合を70%以上にする。	
取組内容⑩【 区分 人権を尊重する教育の推進 】	ルーツを持つ生徒へ民族クラブでの活動内容の周知を広く行い、参加を促進する。(マネジメント改革関連)	
指標	ルーツを持つ生徒の民族クラブへの活動参加率を増加させる。	

大阪市立美津島中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標どおりに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった。

D: ほとんど取り組みず、目標も達成できなかった。

年度目標	達成状況
【 視点 健康・体力の保持増進 】 ① 各種検診の結果や、健康課題の現状に基づき、学級での健康指導の充実を図る。平成26年度の校内アンケート調査において、「わたしは、健康について適切な指導を受けている」の肯定的回答率を83%以上にする。(マネジメント改革関連)(健康教育) ② 平成26年度の校内アンケート調査において、「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について、肯定的回答率を75%以上にする。(マネジメント改革関連)(食育) ③ 生徒主体の活動の場を設定することにより、自主性を育む。平成26年度の校内アンケート調査において、「体育祭、文化祭などの学校行事で、わたしが力を発揮し、活躍する場がある」という肯定的回答率を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)(生活指導)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【 区分 健康な生活習慣の確立 】 「保健だより」などを通じて健康指導における情報提供を行い、学級、学年での指導に役立てる。(マネジメント改革関連) 指標 校内調査アンケートにおける「わたしは、健康について適切な指導を受けている」の肯定的回答率を昨年度より増加させる。(昨年度76.7%)	
取組内容②【 区分 食育 】 「食育通信」や食育教育を充実させ、食を大切に、朝食を毎日とる習慣を身につけさせる。(マネジメント改革関連) 指標 校内調査アンケート「朝食を毎日とる習慣が身についている」における肯定的回答率を75%以上にする。	
取組内容③【 区分 体育的活動の充実 】 生徒会活動を中心に、生徒主体の活動の場を増やし、自主性を促す。(カリキュラム改革関連) 指標 校内調査アンケートにおける「学校行事で自分が力を発揮し、活躍できる機会がある」についての肯定的回答率を昨年度より増加させる。(昨年度73%)	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立美津島中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが、目標を達成できなかった。	D:ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった。

年度目標	達成状況
【 視点 家庭・地域の連携・研修の充実 】 ① 教職員が、教育活動全般を通して、高い人権意識を持って生徒へ対応する指導体制を構築する。年度末アンケートにおいて「先生方は生徒の個々の状況に応じた丁寧な指導をすすめている」という肯定的回答率が55%以上になることを目指す。(マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【 区分 家庭・地域の連携・研修の充実 】 個々の生徒の状況把握に努め、高い人権意識をもった指導を推進する。家庭・地域との連携、活動、研修を深め、生徒理解に努める。(マネジメント改革関連)	
指標 年度末アンケートにおいて、「先生方は、生徒の個々の状況に応じた丁寧な指導をすすめている」という肯定的回答率が55%以上になるようにする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 国 語 】

（目標）

Plan

基礎学力の定着を図るため、

- ① 毎時実施する漢字テストで得点率9割を目指す。
- ② 「わかりやすい授業」評価全学年8割を目指す。
- ③ 様々な形式での作文課題を与え、文章表現力を高める。

Do

（具体的方策）

- ・ 毎時間漢字テストを実施することで、基礎学力の定着を図り、家庭学習の習慣をつけさせる。
- ・ 少人数授業を実施し、より細やかな指導に努める。
- ・ こまめに教科会を行い、授業案を検討する。
- ・ 作文指導を行い、「書く」力を高める。

Check

（点検・評価の仕方）

- ・ 年度末に授業評価アンケートを実施する。
- ・ 漢字テストの得点の結果を集計する。
- ・ 定期テスト等における記述問題の無答率を減らす。

Action

（達成状況・年度末反省）

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野 (学 習 指 導)

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 社 会 】

(目標)

Plan

生徒の世の中(社会)に対する興味・関心を高め、学力の向上に努める。

Do

(具体的方策)

- ① わかりやすい授業をめざし、教材等の作成に努め、基礎基本を定着させる。
- ② 視覚教材や生徒同士のコミュニケーション活動を取り入れ、社会が好きと感じる生徒を70%以上にする。
- ③ 教材を通じ、平和・人権尊重・環境の問題に取り組む。

Check

(点検・評価の仕方)

- ① 定期的な小テストの実施、課題プリント
- ② 生徒アンケートの実施

Action

(達成状況・年度末反省)

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野 （学 習 指 導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 数 学 】

（目標）

Plan

- ① きめ細やかな指導を行い基礎学力の定着を進め、基礎が理解できたと思う生徒を全体の70%以上にする。
- ② 言語活動を取り入れた授業を実施する。
- ③ 数学が楽しいと思える生徒を育成する。

（具体的方策）

Do

- ① 1年生はすべての授業を少人数分割授業にし、2年生は週に1回、3年生は週に2回、TT授業もしくは少人数分割授業を実施する。また、定期テスト前、長期休業中に学力補充を行う。
- ② 校内での相互参観や研修会等に積極的に参加し、授業方法を研修する。
- ③ 教材や教具を工夫することにより授業やテストで「できる」達成感を味あわせ、「楽しい」へつなげる。

Check

- ① 毎学期、生徒にアンケートを実施する。
- ② 毎学期、生徒にアンケートを実施する。
- ③ 毎学期、生徒にアンケートを実施する。

（達成状況・年度末反省）

Action

--

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【理 科】

（目標）

Plan

生徒の興味・関心を高め、学力向上に努める。

Do

（具体的方策）

- ① 視聴覚教材等を活用し、生徒の興味・関心を高める。
- ② 自主教材の作成や小テストを行い、基礎基本の定着に努める。

Check

（点検・評価の仕方）

- ① アンケートを実施し、理科が好きと思う生徒の割合を70%以上にする。
- ② 宿題等の提出期限を守らせ、小テスト、授業ノート、レポート等をチェックすることで基礎基本の到達度を評価する。

Action

（達成状況・年度末反省）

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 英 語 】

（目標）

Plan

- ① 反復練習をすることにより、基礎・基本を定着させる。
- ② リスニングテストの正答率 60 パーセント以上を目指す。
- ③ 書く力の向上に努める。
- ④ 簡単な日常英会話ができるようになる。

（具体的方策）

Do

- ① 毎時間ごとに単語やスピーキング等の帯学習を実施する。
- ② 視聴覚教材の活用・Classroom English の多用。
- ③ プリント等を活用し基本文のドリル練習と、自由英作の慣行。
- ④ C-NET の授業で生徒一人ひとりと C-NET とのコミュニケーションを増やす。

（点検・評価の仕方）

Check

- ① レッスンごとの小テスト。
- ② 定期テストのリスニング。
- ③ 定期テストや授業での英作テストや英作文指導。
- ④ 年に一度の C-NET とのインタビューテスト。

（達成状況・年度末反省）

Action

--

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 美 術 】

（目標）

Plan

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の基礎的能力を伸ばし、創造活動の喜びを味わい、豊かな感性と情操を育てる。

（具体的方策）

Do

- 5 領域の中で、1 年でデザイン・彫塑、2 年で絵画・鑑賞、3 年で工芸を中心に基礎的な知識と技術に取り組む時間を増やす。
- 作品制作への興味・関心を高めて、集中して制作活動に打ち込む態度を養うために学習環境の充実を図る。

（点検・評価の仕方）

Check

- 学期テストや作品の技術的到達度で評価する。
- 制作態度の観察や作品・宿題等の提出率で評価する。

（達成状況・年度末反省）

Action

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 保 体 】

（目標）

Plan

健康と安全に留意し、意欲的に授業に取り組む姿勢を身につけさせる。

Do

（具体的方策）

- ① 集団行動を徹底させ、授業に集中させるとともに、日頃の生活にも反映させる。
- ② 忘れ物、見学者をなくす。
- ③ 生徒の運動能力を把握したうえで、各種目ごとに到達目標を設定し、達成できるように小グループを組んで興味と達成の喜びを持たせる。

Check

（点検・評価の仕方）

体育祭後と学年末にアンケートを実施する。
忘れ物、見学者数なしを90%以上にする。

Action

（達成状況・年度末反省）

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 音 楽 】

（目標）

Plan

- ・各領域において、段階や学習の進め方を工夫していく。
- ・音楽に対する感性を豊かにし、音楽文化についての理解を深める。
- ・音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、表現する力を養う。

Do

（具体的方策）

- ① 第1学年においては、自分の思いや意見をまとめ、共有する。
- ② 第2・3学年においては、自分の思いや意見を、正しく音楽用語を用いて根拠をもって批評し、作曲者の意図など深く理解していく。
- ③ 知覚・感受したことをもとに、自分らしい表現ができるようにする。

Check

（点検・評価の仕方）

- ① ワークシートにおいて、適切に答えることができる。
- ② 授業中、発言などを活発に行う。
- ③ 授業の振り返りのための生徒向けのアンケートを行う。
- ④ 定期テスト、実技テストを行う。

Action

（達成状況・年度末反省）

--

平成26年度 教育計画と達成状況

大阪市立美津島中学校

分野（学習指導）

目 標	学力向上をめざす授業改善によって、基礎・基本の定着を図るとともに、学力補充の充実や発展的な学習を工夫し、規律ある学習姿勢と自主的に学ぶ意欲を身につけさせる。言語活動を取り入れた学習内容を工夫する。
-----	--

教科指導

【 技術家庭 】

（目標）

Plan

技術家庭科の各分野において、興味・関心を持ち、意欲的に授業に取り組む姿勢を身に付ける。

（具体的方策）

Do

- ① 学習した内容を家庭生活に生かしていくことを考え、体験的・実践的な学習の時間を取り入れる。
- ② 話し合いや発表するといった言語活動を取り入れる。

（点検・評価の仕方）

Check

製作品で製作過程での思考や工夫について評価し、授業に対する積極性や協調性、自主性、また、授業態度、提出物、忘れ物においても評価する。

（達成状況・年度末反省）

Action

--